



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月5日

上場会社名 株式会社中京医薬品 上場取引所 東
コード番号 4558 URL <https://chukyoiyakuhin.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米津 秀二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 飯田 亨 TEL 0569-29-0202
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績 (2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,722	6.5	92	52.5	96	49.3	67	87.7
2025年3月期第1四半期	1,617	△1.6	60	△32.1	64	△31.0	35	△36.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	6.30	—
2025年3月期第1四半期	3.36	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,467	2,565	46.9
2025年3月期	5,065	2,526	49.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 2,565百万円 2025年3月期 2,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期 (予想)	—	2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,320	0.2	120	11.3	130	10.6	75	66.1	7.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	11,660,734株	2025年3月期	11,660,734株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,000,342株	2025年3月期	1,001,252株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	10,660,070株	2025年3月期1Q	10,648,274株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や所得の向上、インバウンド消費の拡大等を背景に緩やかな回復基調に推移し継続されていくことが期待されております。反面、他国の紛争の長期化や円安による原材料・エネルギー価格の高騰、気候変動等による食料品を含む物価高、人手不足による人件費上昇など先行きの不透明感が増しています。さらにインフレリスクに伴う消費者の購買意欲の懸念など景気の先行きは依然として予断を許さない状況が続いています。

当業界におきましても、消費の回復傾向は見られるものの、人手不足や賃金コストの上昇、仕入・物流コストの増加など経営環境への厳しい状況が続きました。

このような環境の中で、当社は企業理念として掲げる「健康づくり、幸福づくり、人づくり」の具現化に向けて、お客さまの生活を支えるための商品開発や情報・サービスを多角的・多面的に拡充するトータルライフ・ケアを推進してまいりました。また、当社ならではの「ふれあい業」による人と人との絆によるヒューマンネットワークを広げ、お客さまや市場に継続的に評価をいただくことに努め、収益力と企業体質の強化を図ってまいりました。

その結果、当第1四半期における売上高は1,722百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は92百万円(前年同期比52.5%増)、経常利益は96百万円(前年同期比49.3%増)、四半期純利益は法人税等調整額24百万円を計上したため67百万円(前年同期比87.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業(小売部門・卸売部門)

小売部門においては、仕入・原料コスト等の増加に対応すべく販売価格等の改定を実施し、利益率の改善に努めました。そのため多様化する社会にあったトータルライフ・ケアの推進の為に商品開発やリニューアルについても実施しました。事業基盤の強化としては、配置薬などの委託販売を推進することにより、安定した収益基盤の確立や新たな顧客への販売と継続的な販売に取り組みました。また生産性向上の為に、商品群やサービス形態によるカテゴリー別のアクションプランの策定と実行を促進しました。

今後は積極的な採用活動と共にお客さまとのふれあいの強みを活かして更なる新しいサービスや価値創造に注力してまいります。

卸売部門においては、他企業のストアPB(プライベートブランド)の拡大やクロスセルの実施により販売の拡大に努めました。また、夏季商品等の継続的な販売や熱中症対策商品等の販売にも注力し、販売を高めてまいりました。EC事業(インターネット通信販売事業)につきましても、安定的な収益基盤の構築を図りました。

その結果、売上高は1,529百万円(前年同期比5.8%増)、セグメント利益67百万円(前年同期比47.0%増)となりました。

②売水事業部門

売水事業部門においては、気温の上昇に伴い飲料水(12Lボトル)の売上は堅調に推移しました。近年、防災対策としての水の備蓄や熱中症対策として、ミネラルウォーター宅配市場の必要性が高まっており、中核事業の1つとして確立することを目標としております。また水関連商品等のサイドメニューのラインアップも増やし、お客さまへの利用促進を図りました。

その結果、売上高は192百万円(前年同期比11.5%増)、セグメント利益25百万円(前年同期比69.4%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は3,339百万円となり、前事業年度末に比べ414百万円増加いたしました。これは主に受取手形、売掛金及び契約資産の増加210百万円、現金及び預金の増加168百万円によるものであります。固定資産は2,127百万円となり、前事業年度末に比べ12百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、5,467百万円となり、前事業年度末に比べ402百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は1,961百万円となり、前事業年度末に比べ210百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加99百万円、短期借入金の増加40百万円、電子記録債務の減少63百万円によるものであります。固定負債は940百万円となり、前事業年度末に比べ152百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加151百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,901百万円となり、前事業年度末に比べ362百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は2,565百万円となり、前事業年度末に比べ39百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加39百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は46.9%（前事業年度末は49.9%）、1株当たり純資産額は240.68円（前事業年度末は236.98円）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月13日付けにて発表しました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「2025年3月期 決算短信」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,235,465	1,403,858
受取手形、売掛金及び契約資産	585,961	796,909
電子記録債権	15,589	49,959
商品及び製品	506,042	542,447
委託商品	442,594	445,483
仕掛品	91	78
原材料及び貯蔵品	37,027	32,596
その他	108,720	77,167
貸倒引当金	△6,526	△8,861
流動資産合計	2,924,966	3,339,639
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	428,529	420,452
土地	1,198,806	1,196,678
その他(純額)	12,074	10,482
有形固定資産合計	1,639,410	1,627,612
無形固定資産	112,226	99,509
投資その他の資産		
前払年金費用	84,431	83,327
その他	304,687	317,369
貸倒引当金	△467	△92
投資その他の資産合計	388,651	400,605
固定資産合計	2,140,288	2,127,727
資産合計	5,065,254	5,467,366
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	245,132	344,562
電子記録債務	76,586	13,543
短期借入金	750,000	790,000
1年内返済予定の長期借入金	144,446	178,366
未払法人税等	54,841	64,664
賞与引当金	142,310	208,700
その他	337,488	361,287
流動負債合計	1,750,805	1,961,124
固定負債		
長期借入金	380,014	531,402
退職給付引当金	161,620	163,233
株式給付引当金	47,364	48,341
長期未払金	178,120	178,120
その他	21,221	19,449
固定負債合計	788,340	940,545
負債合計	2,539,145	2,901,670

(単位:千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	681,012	681,012
資本剰余金	527,622	527,622
利益剰余金	1,577,497	1,617,492
自己株式	△296,672	△296,415
株主資本合計	2,489,460	2,529,712
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,648	35,983
評価・換算差額等合計	36,648	35,983
純資産合計	2,526,109	2,565,696
負債純資産合計	5,065,254	5,467,366

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,617,431	1,722,147
売上原価	672,606	738,230
売上総利益	944,824	983,916
販売費及び一般管理費	884,189	891,473
営業利益	60,635	92,442
営業外収益		
受取利息	1	37
受取配当金	769	1,138
受取家賃	3,694	3,646
その他	947	2,298
営業外収益合計	5,412	7,121
営業外費用		
支払利息	1,551	3,239
その他	0	0
営業外費用合計	1,551	3,240
経常利益	64,496	96,323
特別利益		
固定資産売却益	301	4,068
特別利益合計	301	4,068
特別損失		
固定資産除売却損	2,662	—
特別損失合計	2,662	—
税引前四半期純利益	62,135	100,392
法人税、住民税及び事業税	41,134	57,544
法人税等調整額	△14,777	△24,312
法人税等合計	26,357	33,232
四半期純利益	35,777	67,159

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	13,362千円	12,326千円
のれんの償却額	10,659	8,909

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	746,759	449,853	171,488	1,368,101	547	1,368,648	—	1,368,648
配置販売	248,783	—	—	248,783	—	248,783	—	248,783
顧客との契約 から生じる収益	995,542	449,853	171,488	1,616,884	547	1,617,431	—	1,617,431
外部顧客への 売上高	995,542	449,853	171,488	1,616,884	547	1,617,431	—	1,617,431
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	1,159	1,159	—	1,159	△1,159	—
計	995,542	449,853	172,647	1,618,043	547	1,618,591	△1,159	1,617,431
セグメント利益	31,821	14,033	14,780	60,635	—	60,635	—	60,635

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自2025年4月1日 至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	家庭医薬品等販売事業		売水事業 部門	計				
	小売部門	卸売部門						
売上高								
小売販売及び 卸売販売	774,498	504,513	192,058	1,471,070	226	1,471,296	—	1,471,296
配置販売	250,850	—	—	250,850	—	250,850	—	250,850
顧客との契約 から生じる収益	1,025,349	504,513	192,058	1,721,921	226	1,722,147	—	1,722,147
外部顧客への 売上高	1,025,349	504,513	192,058	1,721,921	226	1,722,147	—	1,722,147
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	386	386	—	386	△386	—
計	1,025,349	504,513	192,444	1,722,307	226	1,722,533	△386	1,722,147
セグメント利益又 は損失(△)	71,327	△3,924	25,040	92,442	—	92,442	—	92,442

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。